

## SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
快適で心地良いクラウドテクノロジーの開発提供を通じ、なめらかなコミュニケーション社会の発展への寄与。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
クラウドサービスの包括的なエコシステム型モデルの確立により地球環境のクリーンエネルギー化の推進を図る。卓越したテクノロジー開発と洗練されたマーケティングによる成長戦略を通じ、安心安全で心地よいコミュニケーション社会を創造し国内トップクラスのデジタルプラットフォームを目指す。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
	・サービスのバージョンアップを重ね、ユーザと販売パートナーの成長及び自社サービスを通じたコミュニティの発展に寄与する。	・主力3サービスのバージョンアップを実施した。	テクノロジーのアップデートにより快適性を追求し、事業エリアならびに規模拡大により地域社会の経済成長を盛り上げ、主に貧しい生活者の雇用創出と賃金引上げに貢献する。
	「アクセスショップ」のバージョンアップを行い、導入企業の商取引を現状の10倍に拡大を推進する。	・ECサイト構築クラウド「アクセスショップ」のバージョンアップ開発を実施した。リリースは2022年を予定。	DtoCへの参入企業の拡大とそのイノベーションに寄与するため、テクノロジーのアップデートによる操作性向上とマーケティング支援を強化し10倍以上の流通商取引を目指す。
	・「安否コール」の拡販やIoT連携機能を強化することで、現在の2倍のユーザの安否状況を含めたコミュニケーションをを促進する。	・「安否コール」の安定稼働を目指した、システムアップデートを25回実施した。	テクノロジーの先端技術を持つSmartWatchなどのヘルスケア機能を持つウェアラブルデバイスとIoT連携を強めることで、現在の2倍以上のユーザ同士のコミュニケーション活性化を促進する。
	・サービス導入企業向けの運用サポートとしてテクニカルセミナーを毎月開催する。 ・導入企業へのインタビュー動画を配信し、より効果的にサービスを利用いただけるようサポートする。	・テクニカルセミナーを毎月開催した。 ・導入企業様へのインタビュー記事を配信した。	サービス導入企業向けの運用サポートとしてテクニカルセミナーの頻度を高めを毎月開催し100社以上が受講する。 導入企業への事例動画配信により、極めて具体的で実効性の高い利用促進に繋がるよう啓蒙を図る。
	・出産・子育て支援策の拡充 ・管理職層に占める男女比率を平等にする	・2021年12月時点で課長以上の管理職において、女性管理職割合は33%。	男女ともに差別なく出産・子育て支援策を積極的に拡充し、管理職層に占める男女比率において公平で平等な組織基盤を醸成。
	・物流の最適化を図る「eMAPロケーション」のテクノロジーは、自動車や大型車など効率的で無駄のない配送ルートが導き出されるため排気ガス・二酸化炭素の排出量の大幅な削減に繋げ世界中の水資源の汚染を防止し、快適な上下水道の確保を実現している。	・「eMAPロケーション」の拡販と機能改善に向けた営業・開発計画を進めた。	・継続して活動
	・クラウドテクノロジーの次世代型プラットフォーム「XE0 server」は、複数の国際リージョンで構成され堅牢なセキュリティと可溶性の高い持続可能なサービスをエコシステムとして環境構築しアップデートを継続する事で、数多くのユーザへ安価に提供することができ省エネルギーへと転嫁させている。	・「XE0 server」において、高パフォーマンスを発揮しながら、コストダウンにつなげる構成の見直しを実施した。	企業のDXを推進するマーケティングプラットフォームの「FREECODE」のEditorをECプラットフォーム「ACCESSSHOP」などガジェット含む関連のサービスとの共通モジュール化によりエコシステムを促進する。XrossEditor化のアップデートにより多彩なデザインを取り込むゲートウェイが一本化され、ブリッジとなる「FREEPalette」がよりシームレスで飛躍的な省エネを実現する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新のテクノロジーを取り込み、サービスのバージョンアップを重ねるとともに、スキル・知識獲得のためのWEB検定、GAIQ、WEB解析士の資格取得支援、社内検定としてアドクエ、ウェブジェネチャレンジなどを通じて従業員の成長をサポートする。</li> <li>テレワーク等による新たな生活様式に合った多様な働き方を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WEB検定Webリテラシー試験を10名合格した。</li> <li>会社の理解度を深めるための社内検定を5回実施した。</li> </ul>	<p>最新のテクノロジーのノウハウを蓄積した製品アップデートにあわせ、個人のスキルや知識修得を目的としたWEB検定、GAIQ、WEB解析士の資格取得支援、社内検定としてアドクエ、ウェブジェネチャレンジなど高いレベルの専門性のIT教育を通じて従業員の成長をサポートする。リモートワーク等による新たな生活様式に合った多様で臨機応変な働き方を推進する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスにおける重大なセキュリティ事故の発生件数 0件とする。</li> <li>既存ITとの連携機能や新技術を取り込んだ自社サービスの開発を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重大セキュリティ事故の発生はなし。</li> <li>人事データベースシステムとの連携したサービス拡販の仕組みを整えた。</li> </ul>	<p>ISMS/PMS指針に則り重大なセキュリティインシデントの発生件数ゼロを目指し、業界トップレベルの品質管理を行う。世界中のIT技術との連携機能や新技術を取り込んだエコシステムの確立とグローバル戦略を視野に入れたプラットフォームへ進化させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社サービスの日本語以外の言語対応を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語化に関しては未実施。</li> </ul>	<p>一部の英語ポルトガル語などの多言語が対応され、それ以外の言語対応を順次進めることでバリアフリー社会に向けたグローバル対応のテクノロジーを目指す。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安否確認システム「安否コール」の機能拡充・速度改善・稼働安定性の向上により、企業の災害時の初動対応・コミュニケーションの迅速化に貢献する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「安否コール」の速度改善・安定稼働の向上を進めた。</li> </ul>	<p>安否確認システム「安否コール」の機能拡充・速度改善・稼働安定性の向上により、企業の災害時の初動対応・コミュニケーションの迅速化に貢献する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して活動</li> <li>セキュリティに関する最新情報の収集と社員への情報提供を行い、サービスのセキュリティ強化と社員のセキュリティ意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ対策に関する最新情報を含めた全社員への教育を実施。</li> <li>個人情報関連法令の更新に伴う社内規定、マニュアル等の更新を実施。</li> </ul>	<p>情報セキュリティに関する最新情報の収集と社員への情報提供を行い意識の向上を図る。クラウドサービスの情報セキュリティ対策とプライバシー保護対策、高可用性強化による快適で安心安全なサービスの創造へつなげる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社BCPの定期メンテナンスと社内教育を行い、社員の危機管理意識の向上に努める。</li> <li>規模拡大・頻度増加している風水害に対応したサービスの開発を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「安否コール」において、特別警報機能を追加したバージョンをリリースした。</li> </ul>	<p>BCPの最新版のメンテナンスと社内教育の徹底を図り社員の危機管理意識向上と事業継続および拡大を目指す。災害大国日本における大規模災害の頻度が高まる中で、あらゆる気候変動や風水害などに対応した技術開発を進める。</p>
	<p>南海トラフ地震の震源地である静岡県駿河湾沖でのイベントに、毎年ボランティア活動として協賛する事で海の豊かさや海洋資源の大切さを地域社会のコミュニティへと啓蒙している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、イベント開催は見送りとなったため、社員有志で清掃実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して活動</li> </ul>
	<p>自社及び取引先との業務においてペーパーレスを推進することによりCO2の削減に寄与している。また、クラウドサービスの利用を促進することで顧客企業においてもペーパーレスが進み環境保全に貢献する。</p>	<p>クラウドチャットツールやオンライン会議システムを利用し、会議資料などのデータでの共有を推進した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して活動</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット普及率が9割を超えて情報認知の主要な手段となる中で、誰でも簡単にWEBサイトを作成更新ができるCMS「フリーコード」を提供・普及させることにより官公、団体、企業などのインターネットによる正確な情報公開を促進し、より多くの方々が必要な情報にアクセスできる社会に寄与している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月WEBサイトの活用促進をテーマとしてオンラインセミナーを開催した。</li> </ul>	<p>さらにGoogleのガイドラインでの公正な「専門性」「権威性」「信頼性」に準拠したテクノロジーへと進化させ、契約企業のコンテンツ全体PVを5倍以上へ拡大する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して活動</li> <li>ユーザ会・パートナーアワードを開催し、自社サービスの導入企業同士や販売パートナー同士のネットワークを強化し、パートナーシップの活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、ユーザ会、パートナーアワードの開催は見送り。</li> </ul>	<p>製品テクノロジーのユーザ会・パートナーアワードを開催し、ハイレベルな貢献度に応じたエクセレント評価制度を確立する。導入企業やパートナーのコミュニティ形成により、成功体験ノウハウアイデアなどイノベーション創出のヒントを共有しエンゲージメント強化と活性化を図る。</p>

様式第2号(第6条関係)

- 記載上の注意
- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
  - 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
  - 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
  - 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
  - 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社アドテクニカ	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	4 事業所
2	業 種	5. 情報通信業	
3	従業員（構成員）数	27 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	下村 聡
5	所 在 地	〒 422-8041	
		静岡市駿河区中田2丁目4-40	
6	ホームページURL	<a href="https://www.adtechnica.co.jp/">https://www.adtechnica.co.jp/</a>	